

ミャンマー被災者支援を

岡山 AMDA が募金活動

ミャンマーで3月に発生した大地震の被災者支援のため、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は15日、市内のJR岡山駅南地下道で募金活動を行った。

AMDA職員とボランティアの計11人が参加。地震で3千人以上の死者が出た現地の惨状などを伝えるチラシを手渡しながら約1時間呼びかけると、通行人が次々に募金箱に浄財を寄せていた。

AMDAの大西彰・

災害対策本部長は「ミャンマーは軍事政権下で情報が集まりにくく、支援が困難になっ

ている。皆さんの気持ちとともにお金を届け、中長期的にバックアップしたい」と話した。

寄付金は現地の協力団体を通じて医療機関や大学などに送り、飲

料水や医薬品の購入、職員の生活援助に充ててもらおう。

AMDA

（086-

252-7

700）の

ホームページでも引き

続き受け付ける。

（山本貴之）



ミャンマーで発生した大地震の被災者を支援しようと募金活動を行うAMDA職員ら